

社会福祉法人
雫石町社会福祉協議会

令和4年度
社会福祉法人 雫石町社会福祉協議会
事業報告書

(自) 令和4年4月1日
(至) 令和5年3月31日

令和4年度社会福祉法人雫石町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営の基盤強化

◎理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	内 容
第1回 令和4年6月8日	理事6名 (欠席1名) 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計資金収支決算について ・令和4年度一般会計資金収支補正予算(第1号)について ・経理規程の一部改正について ・監事選任案の決定について ・令和4年度第1回評議員会の開催について
第2回 令和4年9月28日	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長等の職務執行状況報告について ・職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
第3回 令和4年12月8日	理事6名 監事1名 (欠席1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正に関し議決を求めることについて
第4回 令和4年12月19日	理事6名 監事2名 (欠席1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度歳末助け合い募金の配分を定めることについて
第5回 令和5年2月15日 (書面決議)	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員派遣要請について
第6回 令和5年3月22日	理事6名 監事1名 (欠席1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・会長等の職務執行状況報告について ・介護保険従事者給与規程の一部改正について ・放課後児童健全育成事業運営規程の一部改正について ・放課後児童健全育成事業支援員就業規則の一部改正について ・放課後等学童保育事業支援員設置規程の廃止について ・嘱託職員就業規則の一部改正について ・一般会計における前期末支払資金残高の取り崩しを行うことについて ・法人運営に関する積立資産の計上について ・令和4年度一般会計資金収支補正予算(第2号)について ・令和5年度役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和5年度会費の額を定めることについて ・令和5年度事業計画を定めることについて ・令和5年度一般会計資金収支予算について ・事務局長の選任について ・令和4年度第2回評議員会の開催について

◎評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	内 容
第1回 令和4年6月25日	評議員9名 (欠席3名) 理事1名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計資金収支決算について ・令和4年度一般会計資金収支補正予算(第1号)について ・経理規程の一部改正について

第2回 令和5年3月29日	評議員11名 理事1名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・介護保険従事者給与規程の一部改正について ・放課後児童健全育成事業運営規程の一部改正について ・放課後児童健全育成事業支援員就業規則の一部改正について ・放課後等学童保育事業支援員設置規程の廃止について ・嘱託職員就業規則の一部改正について ・令和4年度一般会計資金収支補正予算(第2号)について ・令和5年度会費の額を定めることについて ・令和5年度事業計画を定めることについて ・令和5年度一般会計資金収支予算について
------------------	------------------------	---

◎監査・出納調査状況

実施年月日	区 分	内 容
令和4年4月26日	定期監査	令和4年1月～3月分月次監査
令和4年5月18日	外部監査	社協監事2名・昆税理士法人 税理士による会計指導
令和4年5月27日	決算監査	令和3年度決算監査
令和4年7月28日	定期監査	令和4年4月～6月分月次監査
令和4年8月2日	外部監査	社協監事2名・昆税理士法人 税理士による会計指導
令和4年10月25日	定期監査	令和4年7月～9月分月次監査
令和4年11月8日	外部監査	社協監事2名・昆税理士法人 税理士による会計指導
令和4年11月16日	外部監査	町監査委員2名によるセツ森学童保育クラブの監査
令和5年1月30日	定期監査	令和4年10月～12月分月次監査
令和5年2月8日	外部監査	社協監事1名・昆税理士法人 税理士による会計指導

◎役職員研修出席状況

開催年月日	研修名	内 容
令和4年4月11日	日常生活自立支援事業滝沢地域生活支援員辞令交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度辞令交付 ・令和3年度活動実績並びに情報共有
令和4年5月12日～5月13日	第6回災害時の連携を考える全国フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・『最新の災害想定から平時の備えを考える』 ・『これからの災害支援と「地域主体」』 ※ 各分科会に分かれてのグループセッション
令和4年6月2日	生活困窮者支援調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・新規プラン1世帯 ・評価プラン1世帯
令和4年7月5日	地域コミュニティ組織活動支援事業担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動の進め方等について ・各課事業等情報交換
令和4年7月23日	学童保育 発達障がいと「気になる子ども」の理解	・発達が気になる子ども・医療的ケア児・不登校児
令和4年7月25日	役職員研修視察	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌町社協施設見学 ・住民支え合いマップの特徴について ・マップ作成後に地域課題解決に取り組んだ事例について
令和4年7月26日	市町村域ネットワーク連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県防災ボランティア活動指針等について ・近年の災害対応の状況について ・各団体による災害対応の連携と課題について ・災害ボランティアセンター設置・運営に係る訓練について

令和4年7月28日	第1回盛岡広域振興局管内動物の多頭飼育問題に係る関係機関連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の趣旨説明 ・組織・事例紹介 ・意見交換
令和4年7月30日	学童保育 ペアレントトレーニング体験講座	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の学び 発達障害とペアレントトレーニング
令和4年8月4日	町障がい者自立支援連絡協議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会等開催スケジュールについて ・地域生活支援拠点等の整備について ・前回会議結果を踏まえた意見交換会
令和4年9月5日	学童保育内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社による救命救急法
令和4年9月12日 13日	放課後児童支援員認定資格研修（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・目的及び制度内 ・一般原則と権利擁護 ・特に配慮を必要とする子どもの理解 ・子どもの発達理解
令和4年10月7日	学童保育内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス ・ストレス解消法
令和4年10月24日	町障がい者自立支援連絡協議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組み内容について ・取り組みを進めるための協議体制について ・意見交換
令和4年11月28日 ～29日	放課後児童支援員認定資格研修（後期）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携・協力と相談支援 ・安全対策・緊急時対応 ・障害のある子どもの育成支援 ・特に配慮を必要とする子どもの理解 ・運営管理と運営主体の法令の遵守
令和4年11月29日	岩手県生活支援コーディネーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・「住民が創る持続可能な創生と共生の地域づくり～1人一躍のまちづくり～」 ・「住民主体の地域づくりをまち全体でどう広げるか～全国の事例から考える～」
令和4年12月1日	成年後見制度盛岡広域地域連携ネットワーク連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡広域成年後見センターの運営業務状況 ・成年後見制度の課題について ・各機関・団体からの情報提供
令和4年12月22日	盛岡地域ひとり親家庭等サポートネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等総合相談支援事業について ・ひとり親家庭等応援サポートセンターについて
令和5年1月13日	盛岡地区福祉有償運送協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業更新登録のための内容審議
令和5年1月18日	生活困窮者支援調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・新規プラン1世帯 ・評価プラン1世帯
令和5年1月25日	生活支援コーディネーター研究協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・『ささえ愛ながとろ』の活動と生活支援コーディネーター ・探す、伝える「地域の宝」～地域に出向くことで見えてきたこと～ ・生活支援コーディネーターの活動による地域支援の可能性と課題
令和5年2月6日	生活困窮者支援プラットフォーム会議	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者支援の取組の情報共有 ・各地域の実情に応じた連携体制の検討 ・質疑意見交換
令和5年2月15日	よしゃれ通り周辺JV.買い物サポート事業成果報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアルの概要 ・トライアルの内容・成果
令和5年2月16日	雫石町子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育所のあり方に関する基本方針について ・第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
令和5年3月1日	御明神地区地域運営組織設立にかかる説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営組織に必要性について ・組織体制の説明

令和5年3月6日	学童保育内部研修	・より良いコミュニケーションの方法について
令和5年3月14日	町地域生活支援拠点等整備事業	・地域生活拠点等整備事業について ・整備方針について ・緊急時の定義について

◎総合福祉センターの管理・運営

地域福祉活動の拠点として、住民の福祉の増進を図り、生活の向上に寄与することを目的に、総合福祉センターの管理・運営を行った。

《総合福祉センター貸館状況》

	行 政	社 協	福祉団体	一 般	合 計
使用者数	2,632 人	2,312 人	1,468 人	622 人	7,034 人
利用件数	71 件	106 件	100 件	35 件	312 件

2 地域の福祉力の強化

◎雫石町社会福祉大会の開催

期 日 令和5年2月19日（日）

会 場 雫石町中央公民館 野菊ホール

参加者 247名

内 容

- ・表彰
 - 雫石町社会福祉大会長表彰
 - 民生委員児童委員 1名
 - ボランティア活動団体（者） 9団体
 - 在宅介護功労者（褒賞） 1名
- ・記念講演 『平時における防災・減災に向けたネットワークづくり
～最後は「心」～』
講 師：オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏
- ・パネルディスカッション
『雫石町大雨洪水災害から10年目を迎えて
～発災当時・現在の取り組み、未来へ向けてのメッセージ～』
進 行：オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏
発表者：雫石町赤十字奉仕団委員長 中川真理子 氏
雫石町消防団第2分団第1部団員 高橋 秀之 氏
土橋自治会顧問 平子田由則 氏

◎雫石町社会福祉協議会新年交賀会

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

◎お互いさま情報交換会への参加

お互いさま情報交換会へ参加し、地域内の要支援者の確認や、見守りや防災等に関する活動について情報共有を実施し、各地域コミュニティ組織の現状の把握を行った。

期 間 令和4年5月22日～令和5年3月26日

参加者 地域コミュニティ組織66地区 延べ708名

◎町内福祉施設連携事業

「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設され、社会福祉法人が地域で必要とされているニーズを把握し、サービスを実施することが求められています。しかし、事業実施にあたり、単独法人での地域貢献事業に限界があることから、町内の福祉施設が協働で

町内に必要とされるサービス創生に向けて、連携し事業を実施できるよう町内施設への働きかけを行った。

しかし、コロナ禍で、各事業所とも感染症対策が喫緊の重要課題のため、個別に事業説明を行った。

◎生活支援体制整備事業

日常生活上の支援を必要とする方が、住み慣れた地域で在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、地域の資源・支援ニーズ把握や地域関係者とのネットワークの構築、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービス提供者や団体と連携して支援体制の充実・強化を行った。

また、生活支援サポーター養成講座を開催し担い手の確保と同時に訪問型サービス事業を実施した。

・協議体「これからの地域の支え合い・助け合いを語る会」

生活支援サポーターや町内居宅介護支援事業所ケアマネージャーとともに、本事業における新サービス提供についての検討を行うことを目的に開催した。

期 日 令和5年2月22日（水）

会 場 雫石町総合福祉センター大会議室

参加者 町内居宅介護支援事業所ケアマネージャー・生活支援サポーター 計17名

・生活支援サポーター養成講座・フォローアップ研修・定例会

住み慣れたまちで、暮らし続けるように地域での支え合い活動を推進するとともに地域での支え合い・助け合いや基本的な生活支援について学び、生活支援の担い手を養成することを目的に開催した。また、生活支援サポーターとして活動するにあたり、スキルアップを目的としたフォローアップ研修会を開催し、利用者の情報共有等を行うため定例会を開催した。

【養成講座】

期 日 第1回：令和4年6月26日（日）、7月2日（土）

第2回：令和5年1月29日（日）

会 場 雫石町総合福祉センター大会議室

参加人数 計22名

【フォローアップ研修】

期 日 第1回：令和4年5月18日（水）

第2回：令和4年10月21日（金）

会 場 雫石町総合福祉センター大会議室

参加人数 計21名

【定例会】

期 日 第1回：令和4年5月18日（水）

第2回：令和4年10月21日（金）

第3回：令和5年2月22日（水）

第4回：令和5年3月23日（木）

会 場 雫石町総合福祉センター大会議室、研修室

参加人数 計39名

3 福祉サービスの提供

◎おでかけ援助サービス事業

車いすをご利用の方や移動困難な方に、スロープ車両（車いすごと乗車できる車両）を使用し、有償ボランティアが通院や用足しのための外出の援助を行った。

実施日	土日祝日を除く平日
登録者数	47名
輸送人員	223人
運送回数	444回

◎在宅昼食サービス事業

定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否の確認を行った。

実施日	毎週（月～金）5回、ゴールデンウィーク、お盆、年末
対象者	町内に在住する65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯及び日中独居となる高齢者等。
料金	一食400円
配食数	年間5,596食（1回あたりの配食数：約22食）

◎在宅介護者の集い（雫石町家族介護者リフレッシュ事業）

家庭で介護にあたっている方々が、介護技術の向上と心身のリフレッシュを図ることを目的に、当事者相互の交流や湯治等を実施した。

【第1回】

実施日	令和4年6月17日（金）
会場	花巻市「大沢温泉 山水閣」
参加者数	4名
研修	「無理なくできる介護のポイント」 講師：はーとぼーと指定居宅介護支援事業所職員

【第2回】

実施日	令和5年3月3日（金）
会場	雫石町「ホテル森の風 鶯宿」
参加者数	8名
研修	「口腔ケアと健康」 講師：特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘介護職員 「介護食と便利グッズの紹介」 講師：(株)ウェルネスコーポレーション盛岡営業所所長

◎車いす貸出事業

介護保険で車いすの貸与が不可能な方やケガ等で車いすの利用が必要な方に対し、短期間の貸し出しを行った。

貸出期間	1回につき最大1ヶ月まで
利用者数	延べ32名

◎日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が難しい住民に対して、4名の支援員が福祉サービスを適切に利用し、安心した生活を送られるように支援に努めた。（基幹社協：滝沢市）

※ 3月末現在で、雫石町民の待機者3名。当サービス非該当の方等は下記の雫石町独自の金銭管理・財産保全サービス事業を実施中。

・滝沢市管内の利用状況

市町名	実利用者数	稼働件数	新規契約件数	解約件数
滝沢市	31 (31) 人	491 (549) 件	3 (3) 件	3 (8) 件
雫石町	15 (16) 人	247 (318) 件	0 (3) 件	1 (5) 件
計	46 (47) 人	738 (867) 件	3 (6) 件	4 (13) 件

※ () 内は去年の数

※ 雫石町の解約者は成年後見人へ移行 (1名) によるもの

◎金銭管理・財産保全サービス事業

平成27年11月より雫石町で独自に事業を展開したことにより、前記の日常生活自立支援事業の待機者、また該当しない方への利用が可能となった。

実利用者数	稼働件数	新規契約件数	解約件数
9 (10) 人	68 (72) 件	2 (4) 件	1 (4) 件

※ () 内は去年の数

※ 解約理由は家族管理へ移行 (1名) によるもの

◎生活支援サービス「ちょい助」の実施

生活するうえで困りごとのある住民に対し、生活支援サポーターが支援することで困りごとの解決につなげることを目的に実施した。

実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
支援内容	ゴミ出し、話し相手、買い物代行、服薬確認など
登録者数	8名
利用人数	3名
支援回数	229回

◎地域支え合い型訪問サービス (B事業)

居宅要支援被保険者の居宅において生活支援サポーターが助け合いによる生活援助を提供することで、高齢者の心身機能の維持回復、生活機能の向上を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で人とつながり、いきいきと暮らしていただけるために実施した。

実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
支援内容	ゴミ出し、話し相手、買い物代行、灯油入れなど
登録者数	6名
利用人数	4名
支援回数	283回

◎救急医療情報キットの配布

生活や健康面に不安を抱えながら在宅生活を送る方に対し、救急医療情報キットの配布を通じて、救急時での迅速かつ的確な対応につなげるとともに、身近な地域での見守り・支えあい活動を通じた安心づくりの促進と、見守り支援の強化を図った。

利用者数	延べ359人
実施期間	令和4年5月～ 各地区民生委員による調査 10月～ 対象者へ配布

◎一人暮らし高齢者招待会

75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に福祉サービス等について学習し、参加者相互の交流を図ることを目的に実施した。

【第1回】

期 日 令和4年8月18日(木)
 会 場 花巻市「結びの宿 愛隣館」
 参加者数 17名

【第2回】

期 日 令和5年1月19日(木)
 会 場 雫石町「鶯宿温泉 長栄館」
 参加者数 21名
 研 修 「カラオケで楽しく健康体操ゲーム」
 講師：第一興商音楽健康指導士

◎しろやぎさんホッとレター事業

日本郵便株式会社の『手紙の書き方体験授業』支援事業を活用し、生徒がハガキの書き方を学ぶとともに、福祉教育の一環として、高齢者との交流を継続していくことを目的に暑中見舞いおよび年賀状を作成し対象者へ送付した。

【第1回】 暑中見舞い

実施期間 令和4年6月～令和4年7月
 参加者 雫石町立雫石中学校 全校生徒
 対象者 町内在住の75歳以上の一人暮らし高齢者世帯(340世帯)

【第2回】 年賀状

実施期間 令和4年11月～令和5年1月
 参加者 雫石町立雫石中学校 全校生徒
 対象者 町内在住の75歳以上の一人暮らし高齢者世帯(361世帯)

◎学童保育事業の運営

保護者の皆さんに安心して仕事をしてもらえるよう、授業終了後の子どもたちが家にいるように過ごせる場所を提供することを目的に実施した。3日以上为学校休校日に学童を開設、また住民税非課税世帯には利用料の減免を実施し、金銭的・精神的な負担を軽減した。

学童名	年間延べ利用者数		利用登録者数	職員設置数
御 所：わんぱくクラブ	7,818人	(7,675人)	62人	常勤1名
西 山：なかよしクラブ	6,227人	(8,797人)	77人	常勤2名
七ツ森：もりもりクラブ	4,547人	(3,479人)	40人	常勤1名
御明神：オレンジクラブ	6,718人	(7,330人)	42人	常勤1名
雫 石：わくわくクラブ	19,387人	(20,520人)	156人	常勤3名

※ () 内は去年の数

※ 昨年度に引き続き3日以上为学校休校日に学童保育を開設した。

	実施期間	延べ利用人数		合計延べ利用人数 63人(123人)
ゴールデンウィーク	5月3～5日	17人	(29人)	
お盆	8月13～16日	34人	(50人)	
年末	12月29～31日	12人	(43人)	

※ () 内は去年の数

※ 前年とほぼ同様の開所期間であったが、コロナ禍のため、昨年度に引き続き利用人数が少なかった。

◎ボランティアの相談・登録・斡旋事業

ボランティア相談員を設置し、未設置地区のサロン開設に努めた。また、ボランティア活動に関する様々な相談に対応するとともに、ボランティア活動に参加意欲のある人材を発掘・登録し、地域住民のニーズにきめ細やかに答えられるボランティアの斡旋体制に努めた。

登録人数 個人ボランティア登録者 24名
 災害ボランティア事前登録者 6名
 ボランティア活動センター登録団体(者) 51団体延べ997名
 (ボランティア団体14団体303名・サロンスタッフ37団体694名)

◎雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター情報の発信

- ・雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター情報紙「ぼらっと」の発行
 地域のボランティア情報について、具体的な情報を広く地域住民に提供できるよう工夫し、班回覧にて配布した。

発行回数 年6回
 発行部数 1回600部

- ・ホームページを活用した情報発信
 ボランティアセンターの事業や県内外の災害に関する支援情報を発信した。
 アドレス <https://www.shisha.or.jp/>
- ・SNS (twitter) を活用した情報配信
 最新の事業告知や町内のボランティア団体やサロン活動の様子を、動画を交えて配信した。
 アドレス <https://twitter.com/shizukuishivc>

◎ふれあいサロン事業

健康な高齢者や一人暮らしの高齢者、在宅でこもりがちな高齢者を対象とし、身近な場所(地区公民館など)でおしゃべりなどのコミュニケーションや健康体操などのレクリエーションを行い、いつまでも住み慣れた地域で、いきいきと暮らせることを目的に設置した。

No.	サロン名	地区名	会員数	開催回数	実施内容
1	この指とまれ	(合同)	9	月2回	茶話会、折り紙、ゲーム
2	お茶っこだよ	高前田1	14	月1回	お話会、しめ飾り作り、ゲーム、新年会
3	和野	和野	12	月1回	缶拾い、花壇の整備、さなぶり会、雑巾作り、草とり
4	西山	(合同)	12	月1回	体操、茶話会、ゲーム
5	東町	東町	18	月1回	茶話会、歌
6	かけはし	セツ森	22	月1回	ゲーム、軽スポーツ、茶話会、
7	もくもく	林	22	月1回	紙芝居、軽スポーツ、折り紙、
8	陽だまり	中町1	7	月2回	折り紙、お話会、卓球
9	戸沢いきいき	天戸	31	月1回	清掃活動、森のしずく公園清掃、花植え、さなぶり、役員会
10	コスモス	野中	15	月1回	総会、軽スポーツ、シルバーリハビリ体操、茶話会
11	茶話サロン	下町4	12	月1回	総会、ゲーム、茶話会
12	ひまわり	林崎	23	月1回	茶話会、ゲーム
13	片子沢	片子沢	11	月1回	総会、茶話会
14	五区	五区	20	月1回	軽体操、茶話会、軽スポーツ、ゲーム
15	西根谷地	西根谷地	10	月1回	茶話会、軽体操
16	横欠	横欠	21	月2回	軽体操、輪投げ、ゲーム、茶話会、総会
17	たんたん	上西根	18	月1回	総会、花植え、草取り、さなぶり、体操
18	菜の花・イタバシ	板橋	7	月1回	ゲーム、茶話会、お話、軽体操
19	なつめの会	小松	16	月1回	茶話会、縫物、編み物

20	お楽しみ会	籬野	27	月1回	総会、クリスマス会
21	高前田ニサロン	高前田2	11	月2回	レクリエーション、シルバーリハビリ体操、健康チェック、お話し会、ゲーム
22	雫の会	赤滝	35	月1回	ごみ拾い、総会、花壇づくり、草取り、ゲーム、役員会懇談会、芋煮会、門松づくり、軽体操
23	駅前お茶っこ会	駅前	36	月1回	輪投げ、卓球、体操、ゴルフゲーム、防災訓練、芋煮会、体操、シルバーリハビリ体操
24	S・Y・R 「水仙の会」	矢用	27	月1回	花壇花植え
25	大村地区	馬場、大村、男助	17	月1回	お話し会
26	ハッピーサロン	山津田	11	月1回	体操、折り紙、パズル、総会
27	上町三 ひまわりの会	上町3	9	月1回	手芸、ゲーム、茶話会
28	そとます茶話会	外柵沢	28	月1回	※令和4年度活動なし
29	かみはる	上春木場	42	月1回	体操、ゲーム、茶話会、折り紙、塗り絵、DVD鑑賞、保健師の講座、踊り、歌、シルバーリハビリ体操
30	土橋	土橋	34	月1回	七夕
31	ながね	長根	16	月1回	健康教室、茶話会、折り紙
32	はれやま	晴山	29	月1回	※令和4年度活動なし
33	谷地	雫石谷地	22	月1回	ゲーム、健康体操、折り紙
34	まがき	まがき	23	不定期	花植え、草取り、クリスマス会
35	はしっこサロン	橋場	14	毎週木曜	茶話会、季節ごとのイベント
36	Salon de Himawari	柵沢	6	毎週水曜	茶話会、お絵かき
37	OZASIKI	八区	12	月1回	茶話会、お菓子作り

・ふれあいサロンへの助成

現在活動している各サロンへ助成金を交付し、継続的な支援を行った。

助成額 1サロン年間 10,000円と月のサロン最多参加人数に100円を乗じた金額。

・ふれあいサロンスタッフ研修会

【第1回】

期 日 令和4年6月3日(金)
会 場 雫石町総合福祉センター 大会議室
出席者数 22サロン35名
内 容 テーブルゲーム、グループワーク

【第2回】

期 日 令和5年2月3日(金)
会 場 雫石町総合福祉センター 大会議室
出席者数 21サロン33名
内 容 音楽に合わせた体操、グループワーク

◎ボランティアフェスティバル2022

ボランティアが主体となり、様々なボランティア活動紹介や各コーナーを通じて、活動を広く住民の方に知って頂くと共に、ボランティア活動者同士の交流を深める場を提供した。また、誰もが気軽に参加できる機会を創出し、様々な体験交流を通じ、住民一人ひとりが自分のできることについて考え、助け合い支え合う地域共生社会の担い手である意識を高めた。

◎スノーバスターズ事業

・雪ん子見守り隊事業

中学生、高校生、一般企業、一般ボランティアの協力を得て、一人暮らし高齢者世帯、夫婦老人世帯及び障がい者世帯の見守りと除雪活動を実施した。

実施期間 令和5年1月～2月までの毎週土曜日
 巡回世帯 延べ329世帯
 参加者 学生延べ353名、一般延べ154名 計507名

・スノーバスターズ事業

スノーバスターズボランティアが町の除雪サービス非該当対象世帯等への除雪作業を実施した。

実施期間 令和4年12月～令和5年2月まで
 依頼件数 9件
 従事者数 17名

◎福祉教育出前講座の開催

実施団体	期 日	内 容
町立西山小学校1・2年生	令和4年5月21日	防災クイズ競技
町立雫石中学校3年生	令和4年6月10日	車椅子体験、シニア体験、介助・介護体験、対人援助体験、講話
町立七ツ森小学校高学年	令和4年8月23日	玉入れ、スカットボール、ポッチャ
町立西山小学校4年生	令和4年8月24日	車椅子体験、白杖体験
町立西山小学校4年生	令和4年8月31日	シニア体験
町立御所小学校3年生	令和4年9月6日	ふるさと遠足(さんぽ de ビンゴ)
町立雫石小学校3学年	令和4年11月4日	車椅子体験、白杖体験、シニア体験
町立御所小学校4年生	令和5年1月30日	車椅子体験、白杖体験
町立御所小学校3年生	令和5年2月2日	シニア体験
町立御明神小学校5年生	令和5年3月7～8日	車椅子体験、白杖体験、シニア体験、手話体験
ふれあいサロン延べ36件 老人クラブ 1件	令和4年4月～ 令和5年3月	「軽スポーツ、ラジオ体操、カードゲーム、レクリエーション」など誰でも参加できるプログラムを実施

◎ボランティア団体活動助成金

雫石町内で地域に根差した福祉活動を展開しているボランティア団体の活性化を図るため、活動費の一部を助成し、町内におけるボランティア活動の支援を行った。

助成額 1団体10,000円を上限に申請のあった9団体へ助成金を交付。

◎災害に対する平時からの備えと災害時支援活動

雫石町総合防災訓練と合わせて、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、職員のスキルアップを行った。

期 日 令和4年9月4日(日)
 会 場 雫石町総合福祉センター
 参 加 者 職員9名、町総合福祉課3名

◎災害ボランティア講習会

災害発生時に自分たちの力で大切なヒト・モノ・地域を守るための防災・被災家屋復旧の知識を学び、必要とされる地域力の向上を目的に講習会を開催した。

期 日 令和4年10月30日(日)
 会 場 雫石町総合福祉センター
 参 加 者 16名
 内 容 「近年の災害支援を通じて見えてきたこと
 ～災害支援の在り方 変わったこと・変わらないこと～」
 講師：風組関東支部 代表 小林 直樹 氏
 「災害発生時自分の家を救う方法について
 ～水害からの生活再建の方法～」
 講師：NPO 法人国境なき奉仕団チーム風 代表 桑原 誠 氏

5 相談支援事業の充実

◎心配ごと特別相談所の開設

開 設 日 毎月1回【全12回】
 令和4年4月27日、5月25日、6月22日、7月20日、8月31日、
 9月21日、10月26日、10月30日、12月21日、
 令和5年1月26日、2月24日、3月30日
 開設時間 午後1時30分～午後4時
 開設場所 雫石町総合福祉センター

相談種別	相談担当者	相談件数	主な相談内容
法律相談	弁護士	44件	法律に関する相談
障がい者相談	盛岡広域相談支援専門員	3件	障がいに関する相談
消費生活相談	町総合福祉課職員	0件	詐欺、悪質商法に関する相談
介護相談	町地域包括支援センター職員	0件	介護保険に関する相談
生活困窮相談	県社協生活困窮主任相談員 町社協担当職員	5件	生活困窮に関する相談
人権相談	人権擁護委員	3件	人権に関する相談
就労準備相談	若者サポートステーション職員	1件	引きこもりや若者に関する相談
よろず相談	町心配ごと相談員	0件	生活全般に関する相談
合計		56件	

◎生活困窮者等相談事業

町民の生活の困りごとの相談を受け、岩手県央支援相談室相談員と共に一人一人の困りごとに添った問題解決と生活の自立に向けた支援を実施。また、解決困難な場合は、より専門性の高い関係機関へ繋いだ。

相談件数 延べ411件

相談支援内容

- ・助け合い金庫や生活福祉資金の貸付
- コロナ感染症関連で減収となった世帯へは期限付きのコロナ特例貸付を実施

- ・ 弁護士等と借金問題解決に向けた支援
- ・ 住居喪失者に住居確保援助 1世帯（夫婦）
- ・ 賃貸住宅入居者には住宅確保給付金活用提案
- ・ 求職者にハローワークと連携し求職相談
- ・ フードバンクから食料提供 2世帯へ計3回提供（独居者2世帯）
- ・ 収入減等により生命危機にある水道光熱費等滞納者には“あんしんサポート”事業を活用した。（重複利用有：全6世帯）
内容：水道代 1件、ガソリン代 12件、入院費 1件、国保税 1件
- ・ 行政等と連携し生活保護、介護保険、障害サービス等の申請援助
- ・ 家計見直しと助言、必要時は日常生活自立支援事業や独自金銭管理事業の実施

◎総合福祉センター総合相談所の開設

開設時間 午前8時30分～午後5時
実施場所 雫石町総合福祉センター

相談種別	相談担当者	主な相談内容
一般相談	コーディネーター	生活相談
ボランティア相談	ボランティアコーディネーター	サロン設置、学校等出前講座等に関する事
介護相談	介護支援専門員	福祉サービスや高齢者・障がい者の生活相談等
生活困窮者相談	担当職員	生活困窮に関する事、生活福祉資金等

◎生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を確保するために必要な資金の貸付を実施した。

また、今年度、通常的生活福祉資金貸付は、教育支援資金3件のみとなっている。コロナ特例貸付については、令和4年9月末に申請終了となった。

資金貸付相談件数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	65件	283件	320件	187件

・貸付実績

資金名	貸付件数		貸付額	
	緊急小口資金	0件	(0件)	0円
総合支援資金	0件	(0件)	0円	(0円)
教育支援資金	3件	(4件)	3,737,000円	(7,950,000円)
福祉費	0件	(0件)	0円	(0円)
計	3件	(4件)	3,737,000円	(7,950,000円)

※（ ）内は昨年の数

・コロナ特例貸付実績

資金名	貸付件数		貸付額	
	緊急小口資金	7件	(41件)	1,300,000円
総合支援資金	8件	(44件)	4,500,000円	(32,560,000円)
計	15件	(85件)	5,800,000円	(40,740,000円)

※（ ）内は昨年の数

◎助け合い金庫貸付事業

雫石町に居住する生活困窮世帯に対して、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、一時的な資金の貸付を行った。

貸付状況

	貸付件数		貸付金額	
	令和4年度新規	7件	(11件)	410,000円
過年度貸付分	23件	(15件)	1,390,000円	(1,253,000円)
計	30件	(26件)	1,800,000円	(1,913,000円)

償還状況

当年度償還額		当年度末貸付残額	
937,000円	(885,000円)	863,000円	(1,028,000円)

※ () 内は昨年の数

◎フードドライブ事業

フードドライブBOXを常設し、日本たばこ産業の協力を得て寄付食品をフードバンクいわてへ寄付した。

寄付食品はお米、麺類、おかず類、調味料、飲料、お菓子、赤ちゃん食品などがあり、実績は以下の通り。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
寄付量	38.33Kg	82.48Kg	26.02Kg	3.95Kg	44.32Kg	9.63Kg
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
寄付量	33.16Kg	77.36Kg	180.14Kg	88.42Kg	35.12Kg	35.54Kg

6 広報活動の強化

◎雫石町社協だよりの発行

さまざまな福祉情報を掲載し、町内の全世帯へ配布したほか、関係機関等へ掲示を依頼するなど、広く周知を図った。また、掲載内容にあたっては、ページ構成や企画内容を改めて検討し、住民にとって魅力的な誌面となるよう改善を行った。

発行回数 年3回
発行部数 1回5,620部

◎雫石町社会福祉協議会ホームページ及びSNSの活用

町の福祉に関する最新情報や社協事業に関する参加募集等について、ホームページで周知を行った。また、Twitterを活用し、地域的话题を迅速に提供・拡散を行った。

7 福祉関係機関・団体に対する支援

福祉関係機関・団体との連携や協力を得て、基本目標の『誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』を推進していくために、各種団体の支援を行った。

〔支援団体〕

- ・雫石町共同募金委員会
- ・雫石町民生委員児童委員協議会
- ・雫石町老人クラブ連合会
- ・日本赤十字社雫石町分区
- ・雫石町身体障害者福祉協会

8 居宅介護支援事業の適正運営

令和4年度当事業所が介護保険対象者のケアプランの作成にあたった件数は、介護予防プラン延べ25件、要介護プラン延べ455件、計480件で利用者のニーズに合った計画の作成を行った。また、ケアマネージャーによる介護認定に係る訪問調査を、雫石町で7件行った。

令和4年度社会福祉法人雫石町社会福祉協議会 西山保育園事業報告

1. 令和4年度保育実践状況報告

- (1) 入所児童の減少もあり令和4年度から定数を60名から50名に削減した。年度当初51名の児童でスタートしたが途中での入園児童があり、年度末には57名を確保することができた。
延長保育は、利用日数並びに利用人数も増加した。
一時保育は、里帰り出産に伴う保育や待機児童の利用であった。
- (2) 定期的に「英会話教室」を開催し、英語に関心をもった。また、3歳から5歳児の児童を対象とした「体育教室」は、無理なく楽しみながら運動技能を身に付けることができた。
- (3) 普段から老人クラブなど、地域との交流に努め「草花の植栽」や「水木団子づくり」を通してなお一層交流を深めることができた。
- (4) 園庭内に夏野菜を植え、水やりや草取り等のお世話をしながら期待をもって野菜の生長を観察し、収穫までの流れを知る体験を行った。
- (5) 施設的环境を活かし、西山グラウンドで思いきり駆け回り、様々な虫を見つけたり、草花遊びを楽しんだ。また、冬期間は「雪まつり」を開催し、雪上での「宝さがし」や「リレー」を行い、大いに楽しんだ。
- (6) 「夏祭り」、「運動会」、「発表会」など、父兄の参加を得て開催することができた。

2. 月別在籍数

令和4年度途中入園 6人 保育日数 287日 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
4歳児	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	163
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	104
1歳児	6	6	6	6	7	7	7	8	8	8	8	8	85
0歳児	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	5	5	50
合計	51	51	51	51	54	55	56	57	57	57	57	57	654

3. 園児のクラス構成

クラス名	令和4年4月1日		令和5年3月1日	
	年齢	園児数	年齢	園児数
ひよこ・うさぎ組	0歳児	3人	0歳児	5人
	1歳児	3人	1歳児	2人
うさぎ・きりん組	1歳児	3人	1歳児	6人
	2歳児	8人	2歳児	9人

らいおん・ぱんだ組	3歳児 4歳児	8人 6人	2歳児 3歳児	8人 7人
ぱんだ・ぞう組	4歳児 5歳児	7人 13人	4歳児 5歳児	7人 13人
計		51人		57人

4. 延長保育事業と一時預かり事業の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延長保育利用 日数	16	11	14	18	19	20	17	20	17	15	19	20	206日
延長保育利用 延べ人数	36	23	32	44	68	69	35	38	32	26	33	41	477人
一時預かり利用 日数	11	10	14	11	1	3	5	4	0	0	10	8	77日
一時預かり利用 延べ人数	11	10	14	16	1	3	5	4	0	0	10	8	82人

5. 年間事業報告

<目的>地域に開かれた保育施設として、行事を実施した。

月日・時間	内容	参加人数
4月1日(木) 10:00~11:00	<入園・進級お祝い会> 在園児による歌などの歓迎会を実施した。	全園児
6月30日(木) 10:00~11:00	<フラワーアレンジメント教室> 児童が花に親しみ、フラワーアレンジメントに興味をもって開催することができた。	3.4.5歳児
7月17日(金) 10:00~11:00	<夏まつり> くじ、魚つり、すくいものなど子どもたちが自らお店屋さんになり、自主的に夏まつりを進めるように企画した。 5歳児のさんさ太鼓発表を屋外で開催し、父兄に観てもらうことができた。	全園児 保護者
8月31日(火) 10:00~12:00	令和4年度児童福祉施設指導監査 <監査内容> 児童福祉法施行条例に基づく指導監査	県保健福祉 環境部職員 2名
9月10日(土) 9:00~10:30	<運動会> 4.5歳児園児と0.1.2歳園児との二部構成にし、家族の人数を制限して開催することができた。(西山公民館)	全園児
10月3日(月) 10:15~10:45	<座禅会> 集中力を養い、児童の穏やかな心を育む機会を得た。	3.4.5歳児
10月14日(金) 9:30~13:00	<小学校見学> 就学前に向けて学校を見学し、就学に向けての期待を膨らませるとともに施設の利用の仕方について学習した。	5歳児

11月26日(土) 9:00~12:00	<西山キッズ発表会> 3.4.5歳児のお遊戯と劇発表を保護者に見ていただいた。	3.4.5歳児
3月3日(金) 10:00~11:00	<ひなまつり会> 児童と職員が歌や踊りでひな祭りを祝った。	全園児
3月26日(土) 9:00~10:30	<令和4年度卒園式> 卒園児12名が、父母に感謝の言葉を伝え、出席者と卒園を祝った。	5歳児 保護者26組

6. 外部講師の指導

	指導内容	講師	回数
1	カワイ体育教室(4,5歳児)	カワイ体育教室講師 中村志野先生	7回
2	英語教室(4,5歳児)	レスリン先生	4回
3	むし歯予防健康教育(4,5歳児)	歯科衛生士・保健師 健康子育て課主催	1回
4	交通安全教室(3,4,5歳児)	西山駐在所・交通安全指導員 防災課主催	2回
5	たのしいよみきかせ(2,3,4,5歳児)	「うれし野こども図書室」町立図書館主催	1回

7. 小学校、中学校、高等学校との連携実施状況

月	内容
4月	・西山小学校と雫石小学校 入学式お祝いのメッセージ送付
6月30日	・保育園(所) 幼稚園 小学校連携推進会議
10月14日	・西山小学校見学(5歳児12名)
2月8日	・雫石小学校幼保小連絡は、教務主任と年長児担任が懇談
3月	・西山小学校幼保小連絡は、直接学校にて担当者と連絡会 ・西山小学校と雫石小学校 「保育所児童保育要録」提出 ・西山小学校と雫石小学校卒業式への出席と卒業式お祝いのメッセージ送付

8. 健康・衛生管理

①内科検診 嘱託医 上原小児科医院

4月7日(木)51人・10月6日(木)56人受診

②歯科検診 嘱託医 沼田歯科医院

6月8日(水)51人受診

③感染状況について

新型コロナウイルス感染防止の為、密閉・密集・密接を避け園内の床や壁、扉、玩具や絵本等の消毒を毎日実施した。手洗いの仕方を教え、手指消毒のアルコールやペーパータオル等を日常で使用。冬場は特に、湿度を保つよう努めた。3歳以上児と職員は感染防止のため、マスクをかけ生活をした。また、新型コロナウイルス感染症について保護者や職員に「おがスマ」により園情報を発信をした。

日々感染防止対策を講じている中、園児54名中33名が罹患し、職員も6名の感染者が出た。児童の感染防止対策として2回にわたり休園措置を講じた。

9. 食育・給食提供状況

- ① 3, 4, 5 歳児は一緒にホールに集まり年 6 回合同食育集会をした。ホールでの食育集会では保育士と栄養士が、手洗いの仕方や食事のマナー、行事食、三色栄養などの話を寸劇やクイズ、絵本等を取り入れて教えた。残りの 6 回は年齢に合った食育活動をクラスごとに実施した。食育に関する紙芝居や絵本をそれぞれの年齢にあった内容で読んだ。
- ② 献立表に熱量、たんぱく質、脂質、塩分摂取量の表示をした。
また、献立表の裏面で、保護者に向けて情報提供をした。(栄養と健康、行事食や食の大切さ、マナーについて等)
- ③ アレルギーをもった子どもに対応したメニューや、配膳方法を工夫した。
- ④ 連携施設「小規模保育 にじいろ保育園」の給食搬入を行った。

10. 防災・防犯等の安全管理について

- ① 安全計画の策定
令和 4 年度から国の指導のもと、園児の安全確保に関する取り組みを計画的に実施するための「西山保育園安全計画」を策定した。
- ② 防災計画

月	想定災害	狙い	訓練場所	配慮事項
4 月	火災	・非常ベルの音になれる ・ハンドマイクのサイレンや音になれる	ホール	・防災マニュアル確認 ・避難訓練の大切さを園児に説明 ・避難リュックの中身の確認
		・「おはしも」の約束をし避難訓練の意味を知る ・避難靴の使い方を知る	ホール	・「おはしも」の確認(押さない/走らない/しゃべらない/戻らない)
5 月	地震	・園庭で活動中の避難の仕方を覚える	園庭の中心	・手に持っている玩具は置いて避難することを知らせる ・建物から離れた場所に誘導
6 月 (総合避難訓練)	火災	・あわてず騒がず消防署員の方の指導の下避難をする	西山グラウンド	・先生の指示をよく聞く ・避難訓練・通報訓練・消火訓練・防火教育(DVD 視聴)
7 月	洪水	・洪水の際の避難の仕方を知る	ホール	・避難にかかる時間を計る・園児が不安にならないように、声がけ・引き渡し名簿の使い方の確認
8 月	地震	・不意打ち訓練をする	安全な場所	・避難口確保・園児が取り残されていないか園内をくまなく確認
9 月	近所で出火	・近所で出火した場合の避難方法や避難経路を知る	西山グラウンド	・窓扉を閉める・電気を消す ・園児が取り残されていないか数人の職員で確認 ・防災頭巾を被り、靴を履いて避難する。
10 月	竜巻発生	・竜巻の際の避難の仕方を知る	押し入れの中 倉庫	・手に持っている玩具は置く ・保育室の窓とカーテンを閉める ・園児、職員も押し入れの中に入る
	熊出没	・外で活動中の避難の仕方を伝える	テラスから ホール	・大声で知らせる・先生のところに集まる ・テラス、玄関からホールに避難
11 月 (総合避難訓練) 栗石分署来園	地震 火災 給食室出火	・地震後、調理室から出火したことを知らせ子供たちを速やかに避難させる	西山グラウンド	・署員の指導を受ける ・避難訓練・通報訓練・AED 訓練・防火教育(DVD 視聴)
12 月	地震	・落下物に注意しテーブルの下などに隠れ、身を守る	テーブルの下	・避難口確保・ストーブのスイッチやブレーカーを切る・落下物に注意
1 月	岩手山噴火	・噴火した場合の避難の仕方を覚える	ホール	・避難経路と避難場所の確認・服装の確認
2 月	不審者 保育園玄関	・職員同士で合言葉を言い合い、静かに子供たちを非難する	うさぎ組 ぞう組	・室内の鍵を全てかける ・電話連絡通報者の確認 ・セコム非常ボタンの確認(2 か所)

3月	地震 (震度5強)	・東日本大震災級の大地震を想定した訓練	押入れの中	・寝ている子供には布団をかぶせたり、抱いたりして押し入れに入れる ・園舎が崩壊しないか気を付ける
----	--------------	---------------------	-------	---

③ 点検事項

番号	内容	備考
1	防火設備点検 年2回	(有) キョウエイ自販
2	園庭固定遊具保守点検 年1回	(有) サンプリッジ東北
3	保育園園舎内外 週1回安全点検	職員点検

11. 職員の処遇改善、福利厚生

- ① 保育士等処遇改善Ⅰの支給・・・全職員とパート職員
- ② 処遇改善等加算Ⅱの支給・・・任保育士1人 副主任保育士2人 専門リーダー2人 職務分野別リーダー2人
- ③ 処遇改善等特例加算の支給・・・全職員とパート職員
- ④ 健康診断、インフルエンザ予防接種(全職員)

12. 研修・会議

① 職員会議等の実施状況(月1回開催)

- ・職員会議<保育の月案と評価・行事内容の企画と評価・献立について要望と反省・個別ケース報告と相談・リスクマネジメント・施設内外安全点検報告他>
- ・3歳未満児会議、3歳以上児会議、給食会議<個別ケース、給食の様子、指導計画の検討他>
- ・職員園内研修(月1回開催)
- ・「子どもたちの手先を使う保育」を目指す。未満児は衣服をたたんでロッカーにしまう。3歳児以上児は靴下のはき口を一緒にし折り返す「クルリンパ」、5歳児は「りぼん結び」に挑戦した。
- ・月ごとに保育士各個人が研修したことや、自分が関心があり勉強した事例を発表し、お互いに意見交換した。(新型コロナウイルスとは・氾濫危険情報警戒レベルについて・事故防止のためのヒヤリハットについて・保幼小学校連携推進会議等)
- ・給食会議では0,1,2歳児離乳食と個別対応、4,5歳児個別対応、アレルギー除去食、献立の確認をした。
- ・外部から講師を招いて、大規模地震や水害、火災等の対応について学習するため防災の講話を受けた。

② 外部での研修実施状況

期日・場所	実施概要
4月	◎岩手地区保育施設協議会総会(書面議決)
5月28日(月) 雫石保育園 (永昌寺会館)	◎雫石町保育施設協議会第1回理事会 内容：令和4年度理事顔合わせ、事業内容について(グループ研修 全体研修 会費について他) 出席者：園長
5月	◎雫石町保育施設協議会総会(書面議決)
6月2日(木) 岩手産業会館	◎令和4年度岩手県園長運営管理協議会 内容：就学前児童の教育について 園における働き方改革と人材育成 出席者：園長
6月21日(火) 県立総合教育センター	◎令和4年度岩手県保育士等キャリアアップ研修 内容：保育者レベルアップ研修講座ステップ1 出席者：保育士1人

6月27日～8月30日(3日間) 岩手産業会館	◎令和3年度岩手県保育士等キャリアアップ研修 内容：食物・アレルギー対応分野 出席者：保育士2人
7月5日(火) アイーナ	◎青少年育成セミナー 内容：フローな人生を送るために with コロナの生き方 出席者：園長
7月11日(月) アイーナ	◎令和4年度福祉サービスの苦情を考えるセミナー 内容：苦情解決に役立つ法的知識・困難な郡上とその対応 出席者：園長・主任保育士
7月18日(火) アイーナ	◎雫石町保育施設協議会 所長・主任会議 内容：新型コロナウイルスに対する保育所の対応について他 出席者：主任保育士
7月25日～28日 Zoomでの研修	◎ことば育ての土台づくり・気になる子に保護者とのかかわりのポイント 内容：生活習慣を整えることの大切さ 保護者の視点にたつての考え方 出席者：保育士
11月8～9日 アイーナ	◎防火管理者取得講習 内容：防火管理の意義と制度・火気管理・施設整備の維持管理 出席者：保育士
11月29日(火) 県民会館	◎愛着障害とは 内容：発達障害との違いについて 出席者：保育士1人
12月8日(木) 雫石町役場	◎令和4年度第1回子育て支援ネットワーク会議 内容：各関係機関の活動の情報交換・しずくいし子育て支援ガイドブックの作成について 出席者：園長
12月9日(金) 渋民公民館	◎令和4年度岩手八幡平地域福祉サービス苦情解決情報交換会 内容：円満な苦情解決に向けた取り組み・事業所間での情報交換 出席者：園長
12月12日(月) アイーナ	◎岩手県児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修 内容：岩手県における児童虐待対応の状況 児童虐待の基本的な理解について 出席者：園長
2月21日(火) 雫石保育園 (永昌寺会館)	◎雫石町保育施設協議会第2回理事会 内容：令和4年度事業報告について、役員改選について他 出席者：園長
2月28日(火) 雫石中央公民館	◎令和4年度子供虐待対応多層多職種研修会 内容：スマホ育児が子供に与える影響について 出席者：保育士

13. 施設・備品の整備

- ・おがーるシステムの導入
- ・防災用資材収納用物置
- ・ウッドデッキ補修工事
- ・幼児用手洗い場自動水栓取り付け工事
- ・ノートパソコンの購入

14. 広報活動（発行回数）

- ・社協だより（年3回）
- ・保育園だより（月1回）
- ・給食だより（月1回）
- ・クラスだより（年6回）

令和4年度社会福祉法人雫石町社会福祉協議会 小規模保育 にじいろ保育園事業報告

1. 保育実践状況報告

- (1) 小規模保育の特色を生かし、家庭的な雰囲気の中、一人ひとりの子どもにじっくりと寄り添って保育することができた。
御明神公民館を借用し、広いスペースを使用して年齢に合わせた遊びを楽しめる保育を提供した。
- (2) 低年齢の児童を対象とした施設であることから児童が最も興味と関心を引き、一緒に参加できる行事をボランティアの協力を得て開催することができた。
※ ハロウィンパーティー・クリスマス会・まめまき会など。
- (3) 年度当初9名の入所児童でスタートしたが9月からは、職員定数換算を満たす10名の入所児童を維持することができた。結果、年度当初雫石町から300万円の運営支援交付金収入を予定していたが、安定した運営ができたことにより町補助金を受けずに運営することができた。

2. 月別在籍数

令和4年度 途中入園 1人 保育日数 291日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
0歳児	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31
合計	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	115

(人)

3. 健康衛生管理

①内科検診 嘱託医:上原小児科医院 上原充郎

4月7日(木) 9人受診 10月6日(木) 10人受診

②歯科検診 嘱託医:沼田歯科医院 沼田與志晴

6月8日(水) 9人受診

③新型コロナウイルス感染防止対策

- ・密閉密集密接を避け、園内の床や壁、扉、玩具や絵本等の消毒を毎日実施した。手指消毒のアルコールやペーパータオル等を日常使用。加湿器を使用し、湿度を保つようにした。職員は感染を広げないようマスクを着用し保育を行った。また、新型コロナウイルス感染症について絶えず保護者や職員に情報発信をし、園児と職員の検温の記入を毎日実施した。
- ・コロナの感染防止対策に努めたが4名の児童が感染するに至った。

4. 給食提供状況

- ① 栄養のバランスを考え、西山保育園から給食を搬入し提供した。
- ② 県産、旬を考慮した食材の提供に努めた。

5. 防災・防犯等の安全管理について

① 避難訓練

月	想定災害	実施時間	避難場所	訓練内容
4月5日	地震 (軽震)	10:00	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の声で集まる ・防災頭巾をかぶる ・避難後に人数確認
5月11日	火災 南側民家	10:30	御明神公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・声で知らせる ・玄関から非難する ・避難後に人数確認
6月8日	地震 (中度)	9:30	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の声で集まる ・防災頭巾をかぶる ・避難後に人数確認
7月5日	洪水	11:00	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨避難準備警報が発令されたことを知らせる ・帰り支度をして迎えを待つ ・避難後に人数確認
8月4日	竜巻	10:45	保育室 押し入れの中	<ul style="list-style-type: none"> ・竜巻が発生したことを知らせる ・押し入れに入ったり、布団をかぶせる ・避難後に人数確認をする。
9月1日	火災 診療所側	10:00	御明神公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・声で知らせる ・玄関から安全な場所に避難する ・避難後に人数確認
10月5日	洪水	15:30	御明神公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨のため避難準備警報が発令されたことを知らせる ・保育者もすぐに避難できるように準備しておく
11月2日	地震 (中震)	10:30	駐車場真ん中	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを安全な場所または安全ゾーンに避難する(戸外活動中) ・避難後人数確認
12月6日	不審者 (門扉付近)	10:00	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・発見者が合言葉で全職員に知らせる ・速やかに子供たちを乳児室側に誘導し、ドアを閉める ・避難後人数確認
1月10日	地震 (中震)	10:00	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の声で集まる ・防災頭巾をかぶる ・避難後に人数を確認する
2月6日	近所の火災	15:45	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・声で知らせる ・保育者の周りに集まり、人数確認する ・帰り支度をして保護者を待つ
3月11日	地震 (震度5強)	15:00	押し入れの中 布団をかぶせる	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを起こしながら、すぐに電気、エアコン等を消し戸を開ける ・揺れが収まったら服を着せる ・人数確認 ・防寒具を着て集まる(手袋・帽子がある場合は着用する) ・再度人数確認をする ・非常食をおやつに食べる

②施設設備点検

	内容	備考
1	防火設備点検 年2回(9月14日)	株式会社 岩野商会
2	保育園園舎内外 週1回安全点検	

③ 安全計画の策定

「にじいろ保育園安全計画」を策定し、園児の安全確保に関する取り組みを計画的に実施した。

6. 職員の処遇

- ① 処遇改善等加算Ⅰの手当支給・・・全職員
- ② 処遇改善等加算Ⅱの手当支給・・・管理者1人 職務分野別リーダー1人
- ③ 処遇改善等加算Ⅲの手当支給・・・常勤職員
- ④ 健康診断(年1回)・・・いわて健康管理センターにて実施(3人)
- ⑤ インフルエンザ予防接種・・・11月(雫石大森クリニック)
- ⑥ 職員会議の実施状況<会議回数>月1回
 - ・保育の月案と評価・給食についての反省・個別ケース報告と相談・リスクマネジメント・施設内外安全点検報告 他
- ⑦ 職員園内研修<研修回数>月1回
 - ・SIDS(乳幼児突然死症候群)について・水遊びやプール遊びの事故を防ぐ安全対策について・児童虐待について・子供基本法についての学習・救命救急講習他

7. 工事について

保育室内の戸を二重サッシに交換し、児童の保育環境の改善に努めた。

8. 広報活動(発行回数)

・社協だより(年3回) ・給食だより(月1回)